



STEP UP

【発行】税理士法人 TACHIBANA
〒832-0824 福岡県柳川市三橋町藤吉525-1
TEL.0944-74-1915 FAX.0944-74-1004
info@tachibana-cpa.com
<http://tachibana-cpa.com>



令和2年7月豪雨では、多くの皆様が多大な被害に遭遇され、今日も、新型コロナウイルス感染症の恐怖と戦いながら、懸命に復興作業に取り組んでおられることとお察し申し上げますとともに、謹んでお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も、一度は収束しかけたかに見えましたが、7月末頃から、連日、最多の感染者数を更新し、新型コロナウイルス感染症の克服と経済再生の両立がいかに難しいかをあらためて浮き彫りにしたように思います。国の救済策等も、新型コロナウイルス感染症の状況が変化するのに合わせて、日々刻々と変化しています。私どもの事務所も、国の救済策等に速やかに対応できるよう情報の収集に努めているところです。クライアントの皆様で何かご不明な点がございましたら、遠慮なく、会計税務にかかわりなくご相談いただければと思っています。

先日、ある40代の料理店店主の方が、東北大震災のような未曾有なことに遭遇したので、もう生きている間には、歴史に残るような災害は体験しないだろうと思っていたら、新型コロナウイルス感染症の流行や、100年に一度のような大雨が、毎年、日本のどこかで発生し大きな被害をもたらしている

といったことなどを思うと、神様がお怒りになっているとしか思えないとおっしゃっていたのが妙に耳に残りました。科学的には、新型コロナウイルス感染症の流行は、人口の都市集中、大量・高速移動を可能にした交通機関の発達、農地や居住地の造成により人と野生動物の境界が曖昧になったこと、大雨(豪雨は災害を起こした大雨を振り返って呼ぶ言葉)は地球温暖化が一因だといったことなどから、ある程度の説明はできると思うのですが…。

またこの7月の豪雨では、熊本県ほどの被害はなかったものの、柳川市の近隣の大牟田市や久留米市でも大規模冠水で多くの被害をもたらしました。ご存じのように、柳川市は水郷として有名であり、市内に網の目のように張りめぐらされた掘割は総延長930キロメートルにも達します。この掘割の歴史は古く弥生時代にまでさかのぼります。柳川市の南西部が面する有明海は干満の差が激しく、干潮の時にできる広い干潟に水はけをするための掘割を作り、掘り上げた土を盛ることによって陸化したという歴史があります。掘割には、雨水をため、飲料水や生活用水、農業用水として利用してきました。西日本新聞には、住民の協力により、この利水目的として

きた掘割(平地ダム)の治水機能を最大限に生かし、水害を軽減しているという記事が掲載されました。具体的には、数日後の雨量を予測し、大雨になりそうな時には、先行排水として農家や区長、建設業者ら事前登録した住民が、市が一斉に出す要請を受けて排水作業(掘割に約1100ヶ所ある排水門の開け閉め、排水ポンプ場20ヶ所の操作を約700人で分担して行う)を行うというものです。これは、先人の知恵を生かし、現代の困難に取り組んでいる一例ではないかと思えます。

現代人が経験したことがないような事象への対応は、科学だけに頼るのではなく、先人の知恵に学ぶことも重要なのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の克服には、ワクチンの開発、治療薬の開発は欠かせませんが、感染症の制圧にはなりません。微生物も進化するからです。ひょっとしたら、新型コロナウイルス感染症の流行は、科学的に解明できたとしても、都市化、グローバル化への神様からの警鐘かもしれません。当面は、三密を避け自己防御と他人への感染防止をと思っています。皆様もくれぐれもご注意ください。安穏な生活が戻ることを祈っています。

税理士・公認会計士 徒然なるままシリーズ

第13回

～ファスト&スローを読んでみて～

文：税理士 内藤一道

次の文章を読んで深く考えず、直感的に問題に答えてください。

- 30ドルを確実に貰うか、80%の確率で45ドル貰うほうがよいか？
- バットとボールは合わせて1ドル10セントです。バットはボールより1ドル高いです。ではボールはいくらでしょう？

これらの問題は心理学者でノーベル経済学賞受賞者ダニエル・カーネマン氏の著書「Thinking, Fast and slow ファスト&スロー」*の一説です。

このところ書店のビジネス書コーナーには、行動経済学関連の書籍が平積みされていることが多いので、手に取ってみました。心理学を専攻していた私には、ものすごく興味深く面白いのですが、上下巻合わせて800頁ほどあり読了するのに大変苦労しました(笑)

行動経済学は当初は主流派経済学に対する批判的な研究として生まれたが、1990年代以降の急速な発展を経て米国では既に主流派経済学の一部として扱われるようになった(Wikipediaより)ということで、新古典派経済学が採用していた仮定(期待効用の最大化のような)を心理学的研究により誤りを明らかにしてきているようです。

「古典的経済学が言うように人間は経済活動において常に合理的な判断を行っているのだろうか？」

「合理的な判断をしていないとしたら、どのようなことが判断に影響を与えているのでしょうか？」

この本では、人間の意思決定を速い思考と遅い思考という脳内の働きに分けて分析し、それぞれの役割や特徴、関係性が記されています。

さて、冒頭の二つの問いの答えはいかがでしたか？30ドル貰いませんでしたか？ボールの値段は10セントにしませんでしたか？

直観的に答えてくださいというのは、速い思考で答えてくださいという意味でした。合理的に考える(遅い思考)と45ドルを選択し、ボールは5セントになると思います。

ボールとバットの問題ではハーバード大の学生でも50%以上間違えそうなので安心してください(笑)

著者は、速い思考による判断は**だいたい**正しいがたまにエラーを起こすと言い、速い思考のエラーについて、人間の経済行動がヒューリスティクスや行動バイアスにより**定型的**に左右されるという基本的な人間観のもと、わかりやすく解説しています。

この文章を書いている8月上旬、福岡県でも連日100名を超すコロナウイルス陽性者が判明しております。皆様が読まれる8月下旬はどのような状況になっているのでしょうか？いずれにいたしましても不確実性の高い時代の中で、私たちは今までにしたことない判断を迫られていくのだらうと思います。

すべての判断を遅い思考で行うのはできないのですが、新しい判断を求められたときには、感情や思い込みに左右されないように心を準備しておかなければならないな、とこの本を読んで強く思いました。

追記ですが、著者によると速い思考は統計データの分析が苦手みたいなので、皆様お気を付けてください。

.....
* 伝統的な人間観を根底から覆し心理学者にして、ノーベル経済学賞に輝いた著者の代表作。待望の邦訳。私たちは日々、無数の意思決定をなかば自動的にこなしている。カーネマンは、直感的、感情的な「速い思考(システム1)」と意識的、論理的な「遅い思考(システム2)」の比喩をたくみに使いながら、意思決定の仕組みを解き明かし、私たちの判断がいかに錯覚の影響を受けているかを浮き彫りにしていく。(Amazon[BOOK]データベースより)

NEW FACE

新たに加わったスタッフをご紹介します。よろしくお願いいたします！

小山 利佳 (令和2年4月入社)

4月に入社いたしました小山利佳と申します。今までに総務・経理の仕事はしてきましたがこの業種は初めてで学ぶことが多く、緊張感のある日々を過ごしています。休みの日にはドライブに出かけ、温泉につかってリフレッシュするのが大好きです。まだ不慣れな点多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日でも早く仕事に慣れ少しでも皆様の力になれるよう努力いたしますので宜しくお願い致します。



事務所スタッフ近況

橋本 仁子

(平成13年入社)

4月より勤務が週3回になりゆとりができました。規則正しい生活をするために、15分間のラジオ体操、朝・昼・夜の食事は手作りの数を増やす、クロスワードやナンプレ等の脳トレをする、ヒミツの楽しみの復活…。

しかし、気持ちは楽になったものの充実感を得ることが少なくなっています。

堤 泰作

(平成21年入社)

最近、事業承継に関連した仕事が多くなりました。税制が整備され、その対象となり救済される事業者がいる一方、似たようなことをしている事業者が対象とならないときがあるのも事実です。「担税力」だけで片づけられないのでは？と感じる今日この頃です。

熊丸 美貴

(平成26年入社)

8年半ぶりに出産しました。上の子の赤ちゃんの頃とそっくりで驚きました。抱っこ寝不足で体力勝負の毎日ですが、久しぶりの赤ちゃんはぶくぶくしてとてもかわいく、日々の成長を楽しみながら育児をしています。



青柳 由美

(平成26年入社)

朝日を待ち、5時半に起きる。身支度をして6時には2匹のチワワ犬を引連れて散歩に出かける。梅雨の雨の中、川辺を歩くのも楽しいものです。犬たちには新型コロナの存在など関係ないみたいです。羨ましい限りです。

EDITOR'S NOTE

編集後記

▶ 持続化給付金の相談を受けていますが、ボーダーラインぎりぎりの企業にとっては、悩ましいものです。段階的給付では事務作業が煩雑になり、スピード感にかけられるでしょう。朝刊のスポーツ面と、折り込みチラシの復活にも、経済活動再開を感じる事ができるようになったとき、キャッシュレス還元事業が終わりました。小生の経済活動は、500円玉貯金の復活へと移行していきます。我が家の緊急事態に備えて。(そ)

▶ 昨年地植えした紫陽花が花をつけてくれました。学生の頃、授業でオルゴールの蓋に紫陽花を彫った記憶がよみがえります。その頃から紫陽花が好きだったのでしょね。来年はもっと沢山の花が咲くことを、今から心待ちにしているこの頃です。(な)

▶ 何事も健康であればこそ、と自分のBodyと向き合った結果…トレーニングを開始しました。が、昔と比べての結果の出なさ、そして遅れてくる筋肉痛(来るだけマシ?)に愕然とする介護保険間近の今日この頃です。(OK)

▶ 新型コロナの影響で2020年前半はイベント事も軒並み中止になり、自粛のため家で過ごす時間が大幅に増えました。それと比例するように増加する体重。リングフィットを購入したり少し抗ってみました。思いっきり運動がやりたいと思いは募るばかり。早く全世界で終息することを願い、感染拡大防止に努めたいと思います。(菜)

▶ 表紙写真

昼間の外出も考えてしまうほどの酷暑ですが、職人さんの手による白い塗り壁を見るとさわやかな気持ちに。暑さだけでなく、新型コロナウイルス感染症など、今年はいつもと違う夏をそれぞれお過ごしのことと思いますが、くれぐれもご自愛くださいませ。

